

平成31年度(2019年度)「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立船越小学校		作成者	職名	教頭
電話番号	(0956) 28-0050			氏名	佐野 貞現
1 年間の実施内容(取組状況・実績等)					
4 月	実施テーマ	体罰の禁止 セクハラ、わいせつ行為の防止 情報セキュリティ対策の徹底			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 服務規律委員会作成の年間計画等を職員へ周知する。(会則、概要、構想図等) ・ 「教職員の綱紀の保持について」(通知)(31教義第57号)をもとにし、教育公務員としての自覚と綱紀の肅正について確認をする。(セクハラ、わいせつ行為の防止) ・ 情報セキュリティに関する共通理解事項の周知と徹底を行う。 (市や校内ネットワークの利用について、USBメモリ等の取り扱いについて) 					
取組状況チェックリスト					
<input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。 <input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。					
取組の評価・改善点					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度初めに服務規律強化月間の目的や具体的な計画について全職員で共通理解を図ることができ、見通しをもって取組を進めることができた。 ・ 実際に起きた事案をもとに研修を進めることで、切実感をもたせることができた。 					
7 月	実施テーマ	飲酒運転の根絶 いじめの早期発見・対応・再発防止 セクハラ、わいせつ行為の防止			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 綱紀肅正について、県教委や市教委からの通知等を活用した研修を行う。 (飲酒運転の根絶について、交通事故防止について) ・ 児童対象の生活アンケートの集計結果を活用し、いじめの早期発見と対応を行う。 					
取組状況チェックリスト					
<input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。 <input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。					
取組の評価・改善点					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲酒運転の根絶とともに頻発している交通事故について、実例をもとにしながら注意を促すことができた。 ・ 児童理解支援システムの活用について研修を行ったことで、必要な情報を多く記録するようになり、情報の共有や生活指導に役立てることができた。 ・ わいせつ行為等防止のための自己分析チェックシートを実施した。 					
12月	実施テーマ	飲酒運転の根絶 公金等の不正処理の防止 ハラスメント、わいせつ行為の防止			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 綱紀肅正について、県教委や市教委からの通知等を活用した研修を行う。 (飲酒運転の根絶について、交通事故防止について) ・ セクハラやパワハラに関する事例研修を行う。 					
取組状況チェックリスト					
<input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。 <input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。					
取組の評価・改善点					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通し、セクハラ、パワハラ防止を重点実施テーマとして設定した。セクハラ、パワハラ防止のために具体的事例を挙げて研修を行ったことで、ハラスメントをしない、させないという職員の意識を高めることができた。 ・ 飲酒の機会が増える時期に再度研修を行い、自覚を促すことができた。 					

2 服務規律委員会	
委員会名	佐世保市立船越小学校 服務規律委員会
構成員	所属内委員（7名 構成員：校長、教頭、教務主任、生活指導主任、保健主事、養護教諭、事務職員） 外部委員（3名 役職等：学校評議員）
活動内容 (主なもの)	・ 服務規律に関する研修内容の検討 ・ 職員に対する個別の支援や指導 活動内容の評価・改善点 ・ 自校の実態を踏まえ、内容を絞ってテーマを設定し、研修を進めることができた。 ・ 外部委員の効果的な活用について改善を図る必要がある。
3 年間を通しての計画の達成状況	
年間を通しての取組状況チェックリスト	
<input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。	
年間を通しての取組の評価・改善点	
【評価】 ・ 働きがいのある職場作りのための職員の意識が高まった。（教育目標具現化に向けた共通理解や共通実践、職員室での会話、ノー残業デーの徹底） ・ 校長講話や校内研修を通して、不祥事を起こしたら自分一人のことでは済まされないという危機意識や教育公務員としての責任感が高まった。	
【改善点】 ・ 取組をマンネリ化させず、日ごろからサービスの徹底を図る。 ・ 常に危機意識をもたせるような手立てを打つ。 ・ 職員一人一人が意見を出し合えるような職場の雰囲気作りを行う。	
■ 管理職員による職員に対する指導状況 （不祥事発生に伴う「綱紀の保持」の通知があった場合に全所属が記入します。）	
①指導年月日：平成31年4月26日（通知日：平成31年4月19日）	
指導の内容	
・ 教職員の服務規律の確保についての通知を配付及び読み上げた。 ・ 服務規律強調月間の意義と実施テーマについて確認した。 ・ わいせつ行為は、学校、保護者、地域、家族にまで影響を及ぼすことを再確認した。	
②指導年月日：令和元年8月9日（通知日：令和元年7月18日）	
指導の内容	
・ 教職員の綱紀の保持についての通知を配付し、読み上げた。 ・ わいせつ行為防止のための自己分析チェックシートの確認をした。	
③指導年月日：令和元年9月12日（通知日：令和元年9月6日）	
指導の内容	
・ 教職員の綱紀の保持についての通知を配付し、読み上げた。 ・ わいせつ行為は、学校、保護者、地域、家族にまで影響を及ぼすことを再確認した。	
④指導年月日：令和元年10月15日（通知日：令和元年10月11日）	
指導の内容	
・ 教職員の綱紀の保持についての通知を配付し、読み上げた。 ・ 信用失墜行為を他人事としてでなく、当事者意識をもって考えることを再確認した。	

⑤指導年月日：令和元年10月29日（通知日：令和元年10月24日）

指導の内容

- ・ 県教育長の不祥事防止のための緊急メッセージを配付し、読み上げた。
- ・ 不祥事を根絶し教育への信頼を築く圧倒的当事者意識者であることを再確認した。

⑥指導年月日：令和元年11月20日（通知日：令和元年11月15日）

指導の内容

- ・ 教職員の綱紀の保持についての通知を配付し、読み上げた。
- ・ 飲酒運転は絶対に起こさないという危機感をもって行動することと飲酒運転防止策を自ら講ずることを再確認した。

資料添付

有

・ (無)